

請願文書表 (平成29年3月定例会)

受理番号	請 第 3 号
受理年月日	平成29年2月27日
件 名	安定ヨウ素剤の事前配布を求める請願
請 願 者	舞鶴市字西方寺1099 子どもの未来を考える舞鶴ママの会 添田光子
紹介議員	石束悦子、伊田悦子、小杉悦子
要 旨	<p>【請願事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一、全市民を対象に、希望する人への安定ヨウ素剤の事前配布をしてください。 一、原発事故が発生した場合、舞鶴市へ速やかに報告がされるよう、関西電力に強く求めてください。 一、事故が発生した場合、市民への連絡と避難が速やかに行われるよう、体制を確立してください。 <p>【請願趣旨】</p> <p>福島第一原子力発電所の事故は、いまだに収束していません。現在でも多くの県民が避難生活をよぎなくされ、放射能被害は国民に甚大な影響を与え続けています。又この度の熊本での災害は、どの地域でも甚大な地震が起こりうることを表しているのではないのでしょうか。</p> <p>今、福島では原発事故後の子どもの甲状腺がんの調査が行われていますが、昨年12月27日現在で183人の子どもたちが甲状腺がん、もしくはその疑いがあるとされ、その結果について多くの専門家が福島原発事故との関連について指摘しています。</p> <p>安定ヨウ素剤を用いることで、原発事故時の放射線障害を予防することが可能ですが、被曝直後の服用で90%以上の効果が3時間後では50%へ激減すると言われてしています。</p> <p>高浜原発から市全体が30キロ圏内に入る舞鶴市で、甚大な原発事故が発生した場合、避難の混乱の中、安定ヨウ素剤の効果が高い時間内での服用ができるのか疑問です。</p> <p>舞鶴市民、とりわけ未来を担う子どもたちの命と健康を第一に守ることが自治体の責任ではないのでしょうか。以上の理由から請願します。</p>
付託委員会	原子力防災・安全等特別委員会